

兵庫県天然記念物「浜西のヒメコマツ」樹勢確認簡易調査報告 2019年11月8日～9日
むねざね樹木医事務所

1. 調査当日の状況

石生氏より緊急要請があり、簡易外観調査を行いました。

西面（自宅家屋側）の枝を除き、枝枯れが急激に進行中であり、マツ材線虫病も疑われたので松脂滲出検査と枯れ枝の材辺によるべールマン法で検査実施。



東面



北面



西面



南面

2. 外観、べールマン法による検査

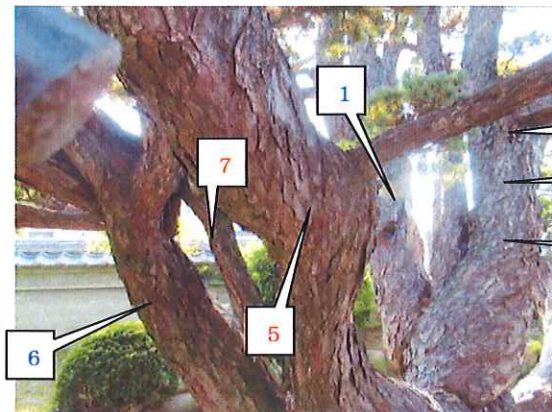


根元、周辺に子実体なし



東、南、北の枝の採取、べールマン法によるマツノザイセンチュウ検出検査
6時間後、12時間後 検出なし

3. 松脂滲出検査



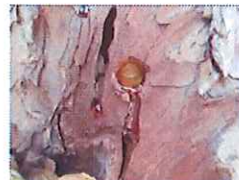
大枝 5 本と螺旋木理の影響も考慮して帆立大枝は高さ方向 3 箇所を確認。念のため、1 時間後と 24 時間後に確認しています。脂の出方にバラツキがあるが、明らかに枯死している枝や部位があります。



西 1A ランク



帆立 2D ランク



帆立 3A ランク



帆立 4C ランク



東 5D ランク



南東 6A ランク



南 7D ランク

4. 今後の処置について

今回の簡易調査の範囲では、「マツ材線虫病」の可能性は少ないと判断しました。2019年9月12日、兵庫県みどりのヘリテージマネージャー会の診断（報告）による幹内部の腐朽進行や、接ぎ木による弊害、台木の台負け現象で生理障害が進行してその影響と思われます。

よって、今後の処置としては、予定されている剪定作業は、樹形を維持するため枯れた大枝は残し、枯れ葉と健全部の古葉のみを取り除き経過を見ていきたいと思えます。

今後も枯れ枝が増えて、景観上支障が出る場合、市から県に現状変更の手続きをして承認が得られれば枯れ枝を切除して樹形を整えてください。

立ち会っていただいた石生氏によると明石市文化財担当課には事前に状況を説明されているそうです。

以上